9　外国語

指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語基礎	3	第1学年	JOYFUL ENGLISH（三友社）DateBase1700（桐原書店）デイリーハイスクール英和辞典（三省堂）HyperListening Introductory（桐原書店）

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語基礎の授業は、英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という4技能の基礎的な力を養う授業です。
そのために、中学校で学んだ文法事項など英語の基礎的な学習を行います。
また、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。
授業では積極的に活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、実際にどのようなシチュエーションで使われるか、ということを意識して学習することが大切です。
常に、「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、自分の考えや感情が聞いている人にきちんと伝わるように心がけましょう。

2．学習の到達目標

【第1学年】履修科目：「コミュニケーション英語基礎」（3単位）
主な教材：上記科目の教科書、NHK高校講座とその内容に即した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音することができる。 つなぎ言葉を用いるなどの工夫をし、話を続けて、自分の気持ちや事実などを聞き手に正しく伝えることができる。	ペア暗唱テスト 授業中の発声活動	文字や符号を識別し、語と語の区切りやつながりなどに注意して正しく文を書くことができる。 自分の気持ちや考えなどを読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。	定期考査 小テスト プリント提出	強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること。 質問や依頼などを聞き、また話し手に聞き返すなど適切に応じ、内容を確認しながら理解することができる。	ディクテーション確認テスト ペア暗唱テスト	文字や符号を識別し、書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示すことができる。	定期考査 プリント提出

3．学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：コミュニケーションへの関心・意欲・態度	b：外国語表現の能力	c：外国語理解の能力	d：言語や文化についての知識・理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4. 学習の活動

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (18時間)	世界の高校生がどのような生活をしているのか。それを詩風に表現したもの、世界を視野に入れる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	簡単な自己紹介と相手に対して質問する内容をメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		be動詞を使って自己紹介をする。	ペアで、メモに基づいて自己紹介を行う。	名前や年齢など、簡単な自己紹介ができる。	メモを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		様々な地域や民族、言葉や習慣が異なる人々の暮らしを知る。	セクションごとに概要を把握する。	多様な民族や異なった文化や習慣について理解することができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容が理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		主語・述語・動詞という語順と疑問文を理解する。	本文中で用いられている意味や用法を確認する。	英文の構造を理解している。	定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているか判断する。
Lesson 2 (18時間)	手塚治虫の自伝風マンガから、少年時代の友だちを紹介し、平和を訴える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	本文の内容に基づくスキットを感情をこめて演じる。	ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		意味の塊ごとに区切ったり、演じる役柄の気持ちを考えながら英文を読む。	ペアでスキットに基づいて、役柄を演じる。	英文の内容や役柄の気持ちを理解して英文を読むことができる。	授業時間にインタビューテストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		手塚治虫の人生を通して、平和について考える。	セクションごとに概要を把握する。	戦争の悲惨さを知り、平和の大切さを理解することができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容が理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		過去形と受身形を理解する。	本文中で用いられている意味や用法を確認する。	過去形と受身形の使い方を理解している。	定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているか判断する。
Lesson 3 (21時間)	車椅子で生活するカナダのキングさんの描いた絵本から障がいを持つということがどんなことか読み取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		バリアフリーな社会を目指すには何が必要かをグループで話し合う。	障がいを持つ人にとって、社会の何が「障がい」になっているのかを伝え合い、それを解決する方法を考える。	バリアフリーな社会を目指すには何が必要かをグループで話し合っている。	グループワークの様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		ワークシートに基づき、障がいがある人とない人で同じところと違うところを書く。	障がいがある人とない人の違いを理解した上で、同じように生活するためには何が必要か英語で書く。	ワークシートに基づき、障がいがある人とない人で同じところと違うところを書ける。	ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		障がいを持つということと、障がいを持つ人の気持ちや考えを理解する。	セクションごとに概要を把握する。	障がいを持つということを理解することができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容が理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		進行形と否定文を理解する。	本文中で用いられている意味や用法を確認する。	進行形と否定文の使い方を理解している。	定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているか判断する。

Lesson 4（18時間）	英語の川柳を通して、感じていることや考えていることを素直に表現する機会とする。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		自分で作成した英語川柳を発音など間違うことを恐れず、積極的に発表する。	英語での発表や発音の仕方を学ぶ。	自分で作成した英語川柳を発表することができる。	発表の様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		英語川柳を書く。	英語で川柳を書くこつを学ぶ。	英語川柳を書くことができる。	ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		川柳とは何かを理解し、実際に高校生が作成した英語川柳を読む。	セクションごとに概要を把握する。	川柳とは何かを理解し、実際に高校生が作成した英語川柳を読める。	定期テストの筆記テストにおいて、内容が理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		助動詞と命令文を理解する。	本文中で用いられている意味や用法を確認する。	助動詞と命令文の使い方を理解している。	定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているか判断する。
Lesson 5（18時間）	サッカー好きな2人の大学生が、戦争で傷ついたアフガニスタンの子どもたちにサッカーボールを送る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続ける。	セクションごとに、本文の音声を聞き、ワークシートにメモする。	聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。	ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		（本単元では設定しない）	ワークシートにメモした内容についてペアで対話する。	（本単元では設定しない）	
		「外国語理解の能力」			
		大学生の起こした行動を通して仲間との絆の大切さを読み取る。	セクションごとに概要を把握する。	大学生の起こした行動を通して仲間との絆の大切さとその力を読み取れる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容が理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		不定詞と「It…to～」の文について理解する。	本文中で用いられている意味や用法を確認する。	不定詞と「It…to～」の文の使い方を理解している。	定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているか判断する。
Lesson 6（18時間）	世界遺産のタンザニア・セレンゲティ国立公園を紹介し、自然と野生動物を守ることの大切さを考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		視覚資料を示しながら、ワークシートに基づいて、世界遺産について説明する。	ワークシートを利用し、キーワードを基に視覚資料を示しながら世界遺産について簡単な英語で説明する。	視覚資料を示しながら、ワークシートに基づいて、世界遺産について説明することができる。	ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		驚いたり、感動したときに感情を表す英語表現を学ぶ。	ペアワークで、世界遺産について説明している相手に対して感情を伝える。	驚いたり、感動したときに感情を表す英語表現ができる。	ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		視覚資料を参考にしながら、世界遺産についての知識を深める。	セクションごとに概要を把握する。	視覚資料を参考にしながら、世界遺産についての知識を得ることができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容が理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		現在分詞と過去分詞について理解する。	本文中で用いられている意味や用法を確認する。	現在分詞と過去分詞の使い方を理解している。	定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているか判断する。

Lesson 7 (21時間)	有名なトランペット奏者で歌手のルイ・アームストロングの人生から音楽と生き方を考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		（本単元では設定しない）	セクションごとに、本文の音声を聞き、ワークシートにメモする。	（本単元では設定しない）	
		「外国語表現の能力」			
		グループごとに歴史上の人物や有名人を取り上げ、調べたものを発表する。	ワークシートに基づき、対象人物の人生や人柄、発信したメッセージなどを調べてまとめ、発表する。	グループごとに歴史上の人物や有名人を取り上げ、調べたものを発表することができる。	発表の内容を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		聴覚資料を参考に、ルイ・アームストロングのメッセージを理解する。	セクションごとに概要を把握する。	聴覚資料を参考に、ルイ・アームストロングのメッセージを理解することができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容が理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		関係代名詞と接続詞について理解する。	本文中で用いられている意味や用法を確認する。	関係代名詞と接続詞の使い方を理解している。	定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているか判断する。
Lesson 8 (21時間)	インターネットを通じてスウェーデンの高校生のホームページにたどりつき、ネット上での会話を行う。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		グループなかで、自分の意見を相手に伝えることと、相手の話をきちんと聞くことを学ぶ。	ワークシートを利用し、自分の言いたいことや、相手から聞いたことをメモする。	グループなかで、自分の意見を相手に伝えることと、相手の話をきちんと聞くことができる。	グループワークの様子を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		グループごとに行きたい場所を決め、行き方やかかる時間など調べたものを発表する。	ワークシートに基づき、旅行の計画をたてる。	グループごとに行きたい場所を決め、行き方やかかる時間など調べたものを発表することができる。	発表の内容を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		スウェーデンの文化について触れ、日本との違いを理解する。	セクションごとに概要を把握する。	スウェーデンの文化について触れ、日本との違いを理解することができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容が理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		形容詞・副詞の比較と現在完了について理解する。	本文中で用いられている意味や用法を確認する。	形容詞・副詞の比較と現在完了の使い方を理解している。	定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているか判断する。
Lesson 9 (21時間)	サリバン先生の援助から「愛」を理解するようになるヘレン・ケラーを通して生き方を考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		本文を読んだ感想を、簡単な英文を使って発表する。	ワークシートに基づき、発表に必要なキーワードをメモし、それを参考に考えをまとめる。	本文を読んだ感想を、簡単な英文を使って発表することができる。	発表の内容を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		「愛」や「友情」といった抽象的なものについて考え、発表する。	ワークシートに基づき、抽象的な物事を説明する。	「愛」や「友情」といった抽象的なものについて考え、発表することができる。	発表の内容を観察する。ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		ヘレン・ケラーとサリバン先生との対話を通し、愛とは何かを考える。	セクションごとに概要を把握する。	ヘレン・ケラーとサリバン先生との対話を通し、愛とは何かを考えることができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容が理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		接続詞「that」と使役動詞について理解する。	本文中で用いられている意味や用法を確認する。	接続詞「that」と使役動詞の使い方を理解している。	定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているか判断する。